

専攻に応じて専門分野を海外で学ぶためのプログラムです。

基本的に、プログラム実施学部・研究科の所属学生を対象としています。詳しくは、各学部・研究科学務係にお問い合わせください。

〈プログラムの例〉 ※その他にも実施されるプログラムがあります。最新の情報は所属学部・研究科の学務係で確認してください。

実施学部・研究科	プログラム名	実施予定時期・期間	研修先国・地域	研修先大学等	単位付与・認定	概要
教育学部	アジア大学スポーツ交流プロジェクト ～Sports for P.E.A.C.E.～	12月上旬(4日間)	韓国、中国	漢陽大学、 哈爾濱商業大学	無	漢陽大学体育学部・生活体育学部、哈爾濱商業大学体育学院の学生と各国の得意スポーツのトレーニング方法などについて情報交換する。また、研究についても学術的な交流を行い、スポーツを通じた交流も実施することで友好を深める。
理学部	インド太平洋地域の「仮想フィールド」を活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム	4月～3月 (短期:10日間 中期:1～3か月間 長期:3～12か月間)	インド、オーストラリア、スリランカ	インド理科大学院大学、 マッコリー大学、ペラデニア大学 等	有	インド・オーストラリア・スリランカの大学生らとともに、仮想フィールド実習および渡航型のフィールド実習を通して、フィールド科学分野における最先端の研究環境を体験する。さらに、急速な資源開発やそれに伴う環境汚染に対する先進的な野外調査技術を体験する。
医学部 医学科	グローバル視点を育てる「国際医学生週間」の更なる活性化	8月～9月 (約2週間)	中国、インドネシア、タイ 等	ハルビン医科大学、ハサヌディン大学、タマサート大学 等	有	「国際医学生週間」を企画し、中国医科系大学、東南アジアの学生を受け入れ、新潟大学医学部での教育・研究・医療の国際学生交流を経た後に、本学の学生を交流協定等を締結している海外の大学に派遣する。
	医学部海外派遣実習	9月～10月 (約8週間)	アメリカ合衆国、マレーシア、フィンランド、スウェーデン 等	ハーバード大学、タフツ大学、ヘルシンキ大学、カロリンスカ研究所 等	有	学生は自ら希望する研究室を学内外から選び、研究活動の実際を経験し、研究の意義や重要性を理解すると共に、研究の基本的な進め方を学ぶ。医学生を海外に派遣することで研究心を刺激し、海外経験を通じて、将来的に最先端の医学研究や国際医療協力などグローバルに活躍できる人材を養成する。
医学部 保健学科	多文化共生社会を牽引する人材育成のための国内学習と夏季海外渡航学習を連結したハイブリッド派遣プログラム	7月上旬～9月 (16日間)	スリランカ	ペラデニヤ大学	有 (一部無し含む)	渡航前学習で異文化コミュニケーションの基礎やスリランカの社会事情等を学習し、現地ペラデニヤ大学および関連施設において交流学习に取り組み、同国の保健分野の現状と課題、伝統医療の理解等に取り組み。
歯学部	世界展開力涵養支援による歯科関連グローバル人材育成プログラム	8月～3月 (約2週間)	アメリカ、カナダ、ベトナム、タイ等	ペンシルバニア大学、 ホーチミン医科薬科大学、 トロント大学、ハノイ医科大学、 チェンマイ大学	有	派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を活かしたさまざまな短期研修プログラムが用意されており、日本とは異なる環境で口腔保健医療の実態を見聞・体験することにより、口腔保健医療の相互理解を深めることができる。
工学部	G-DORM学生交流プログラム(ブレンド型短期・中期)	短期:2学期(講義)+ 2月頃(派遣10日間) 中期:8～9月 (2ヶ月間)	カンボジア・ラオス・タイ・ベトナム	王立ブノンベン大学、 ラオス国立大学、チュラロンコン大学、 ハノイ工科大学	有	派遣先大学の学生と、専攻・学年・国籍混合の学生チームを結成し、主にグループワーク(GW)に取り組み。国際展開力を有する新潟関連企業(現地法人を含む)でのインターシップと、派遣先大学での活動を組み合わせた学生交流プログラム。短期派遣では、国内学修やオンライン交流を含んだブレンド型の国際共修に取り組み。
農学部	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム(短期)	8～9月(約2週間)	トルコ、台湾 等	アンカラ大学、中東工科大学、 国立成功大学 等	有	海外(トルコ・台湾等)の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、現地学生を交えた英語のワークショップを実施する。
	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム(中期・長期)	未定 (中期:～6ヶ月間、 長期:～1年間)	トルコ 等	アンカラ大学、中東工科大学 等	有	海外(トルコ等)の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、研究室で専門の研究を実施する。
教育実践 学研究科	北京師範大学大学院研究交流事業	11月頃(6日間)	中国	北京師範大学	無	北京師範大学大学院生と教職大学院生と研究交流を行う。また、附属学校において交流事業を行う。



アジア大学スポーツ交流プロジェクト(教育学部)



グローバル防災・復興プログラム(農学部)